

令和8年死亡災害発生状況(9月末現在)  
(新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く)

沖縄労働局

| 番号 | 所轄署 | 事故の型       | 起因物          | 業種別                 | 発生時期 | 年齢    | 労働者数<br>(規模別) | 発 生 状 況                                                                                                                          |
|----|-----|------------|--------------|---------------------|------|-------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 那覇  | 墜落・転落      | 送配電線等        | 電気通信工事業             | 1月上旬 | 60歳以上 | 1～9           | 被災者が単独で、引込電柱の上部から順次足場ボルトの撤去作業を実施していたところ、しばらくして付近に倒れている被災者を同僚が発見したもの。被災者はヘルメット着用しておらず、構造規格に適合しない墜落制止用器具を着用していた。                   |
| 2  | 沖縄  | 交通事故(道路)   | 乗用車、バス、バイク   | その他の小売業             | 3月上旬 | 60歳以上 | 1～9           | 走行中、カーブを曲がり切れずに擁壁へ衝突したもの。                                                                                                        |
| 3  | 名護  | はさまれ・巻き込まれ | 整地・運搬・積込み用機械 | 道路建設工事業             | 4月上旬 | 50歳代  | 1～9           | 4tトラックでリサイクル工場へ砂利を買いに来た被災者が、リサイクル工場の敷地内に停めたトラック後方の地上で、荷台に積み込まれた砂利を均す作業を行っていたところ、砂利の積込を行っていたホイールローダーがバックし、トラックとホイールローダーの間に挟まれたもの。 |
| 4  | 那覇  | 墜落・転落      | 脚立           | 警備業                 | 5月中旬 | 60歳以上 | 50～99         | 被災者(警備員)が屋外でうつ伏せで倒れているところを同僚の警備員が発見したもの。倒れていた被災者の足元には脚立、木の枝が折り重なっていた。                                                            |
| 5  | 沖縄  | 墜落・転落      | 階段、栈橋        | ビルメンテナンス業           | 7月下旬 | 60歳以上 | 10～29         | オフィスビルの内階段の踊り場に倒れている所を発見され、救急搬送されるもその後死亡した。                                                                                      |
| 6  | 八重山 | 飛来・落下      | フォークリフト      | 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 | 7月下旬 | 60歳以上 | 10～29         | フォークリフトによる運搬作業時、フォークに差し込んでいた鉄製の長尺物(長さ約3.5m、重さ約200kg)が、高さ約3.2mから落下し、被災者の頭部に当たり頸椎を骨折。救急搬送され治療を受けたものの、死亡が確認された。                     |

※死亡災害報告(速報)によるため、労働者死傷病報告にて集計している労働災害発生状況の死亡者数と一致しないことがある。  
※記載された情報は今後の調査により修正される場合がある。